

Concert Series
珠玉のリサイタル&室内楽



©Claudio Papapietro

ジュリアード弦楽四重奏団

弦楽四重奏の最高峰・ジュリアード弦楽四重奏団が、新メンバー、アレタ・ズラを迎えてヤマハホール・コンサート・シリーズに登場! 70年以上ものあいだ継承され続ける清冽な「ジュリアード・サウンド」を、わずか333席のヤマハホールの極上の音響空間でたっぷりとお楽しみください。

ジュリアード弦楽四重奏団

アレタ・ズラ(バイオリン)

F.J.ハイドン/弦楽四重奏曲 ヘ長調「雲がゆくまで待とう」Op.77-2, Hob.III-82

ロナルド・コープス(バイオリン)

B.バルトーク/弦楽四重奏曲 第3番

ロジャー・タッピング(ビオラ)

A.ドヴォルザーク/弦楽四重奏曲 第11番 ヘ長調 Op.61, B.121

アストリッド・シュウィーン(チェロ)

2018/ **10/24**(水) 19:00開演 (18:30開場) **ヤマハホール** 〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

3/24(土)前売開始

入場料(全席指定) **6,000円**

チケット取扱い

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:110-701] <http://pia.jp/t/>

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

主催/ヤマハ株式会社 <http://www.yamahaginza.com/hall/>

お問合せ:ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171 (11:00~19:30/第2火曜定休) ※お電話でのチケットのご予約は承っておりません。

※都合により、出演者・曲目が変更になる場合がございます。予めご了承下さい。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※チケット料金には消費税が含まれております。

 **YAMAHA**

感動を・ともに・創る

ジュリアード弦楽四重奏団



ジュリアード弦楽四重奏団 Juilliard String Quartet

アレタ・ズラ Areta Zhulla (バイオリン) ロナルド・コープス Ronald Copes (バイオリン)

ロジャー・タッピング Roger Tapping (ビオラ) アストリッド・シュウィーン Astrid Schween (チェロ)

©Claudio Papapietro

比類なき芸術性と不朽の活力で、ジュリアード弦楽四重奏団は、世界中の観衆を魅了し続けている。1946年の創設以来、クラシック音楽作品に対して深くそしてたゆまぬ探究心を傾けると同時に、新作に対してもその大家としての使命感を全うし、新鮮かつ大胆さを持って取り組んでいる。まさに、アメリカの弦楽四重奏団の規範ともいべき存在である。彼らの演奏は常に独特の体験であり、4人のメンバーが深く理解し合い、完璧なまでに共通の音楽の見地を見出し、常に弦楽四重奏という芸術に対しての好奇心を持ち続けている。

昨シーズンで結成70周年を迎えたジュリアード弦楽四重奏団は、2017/2018シーズンは再び、シアトル、サンタ・バーバラ、パサデナ、メンフィス、ローリー、ヒューストン、アムステルダム、コペンハーゲン等で演奏。さらに、デトロイト、フィラデルフィアにおける定期シリーズ、リンカーン・センターや、タウンホールを含む、本拠地ニューヨークにおける多くのコンサートに出演している。ソニーから新盤をリリース、ダヴィッドフスキーの弦楽四重奏曲第6番「Fragments」(2016)、ベートーヴェンの第11番「セリオソ」、バルトークの第1番を録音した。2017/2018シーズンの演奏プログラムとしてはベートーヴェン、バルトーク、ドヴォルザーク、そしてジェームズ・マクミランの魂を揺さぶるような作品「Why Is This Night Different?」(1998)を中心とする意欲的なラインアップを用意している。

2015年には、Touchpress社とジュリアード音楽院が共同でインタラクティブなアプリを開発、シューベルトの「死と乙女」をリリースし、その画期的な試みが大きな話題を呼んだ。同アプリに加え、ジュリアード弦楽四重奏団の新録音による「死と乙女」がiTunesで販売されている。

バルトーク、シェーンベルク、ドビュッシー、ラヴェル、ベートーヴェンの録音はグラミー賞を受賞。2011年には、クラシックの室内楽団としては初めて、ナショナル・アカデミー・オブ・レコーディング・アーツ・アンド・サイエンスよりグラミー賞の功労賞(Lifetime Achievement Award)を授与された。2014年にソニー・クラシカルから発売された、カーターの弦楽四重奏曲第1番～第4番の貴重な初録音に加え2013年録音の第5番を収録した全集は、アメリカ音楽を積極的に紹介してきたJSQの歩みを象徴する歴史的ドキュメントとも言える作品である。

各メンバーは教師としても優れており、ツアー中もマスタークラスや公開リハーサルを実施している。レジデンスであるジュリアード音楽院では弦楽および室内楽の教授を務めており、受講を希望する者が後を絶たない。毎年5月に開催している5日間に及ぶセミナーは国際的にも注目を集めている。また夏には、タンブルウッド音楽祭では学生たちとともに弦楽四重奏のための集中講座を行っている。

演奏、録音、教育というあらゆる面で卓越しているジュリアード弦楽四重奏団は、常に同時代の音楽界の先頭に立ち続け、ジュリアード音楽院を牽引して世界に名声を轟かせている。

2017/2018シーズンをもって第1バイオリンのジョセフ・リンが退団し、2018年9月よりアレタ・ズラが新メンバーとして加入する。

ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14 03-3572-3139(10:00～18:00/平日のみ)

●交通のご案内

東京メトロ銀座線/丸ノ内線/日比谷線「銀座」駅A3出口より徒歩4分
都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公演情報メールマガジン配信中!(不定期)

ご登録はヤマハホールHP又は、QRコードよりお願いいたします。
<http://www.yamahaginza.com/hall/>



ヤマハホール公式 Facebookページ
<https://www.facebook.com/yamahahall>



Like 「いいね!」ボタンのクリックをお願いします。

